報恩感謝のお会式を盛り上げてまいりましょう

大森　ゆきゑ

私のお寺の年間行事のうち、毎月十七日の鬼子母尊神祈願祭、大祭、お施餓鬼会、お会式とありますが、その中で参拝者の一番多いのがお会式で、最大の行事となっております。

お盆の頃から準備を始めませんと、十一月三日の当山のお会式や他の十四ケ寺の、お会式参拝にはとても間に合いません。

お会式は日々の信仰活動の締めくくり、日蓮さまへの御礼詣りの日だと思って、檀信徒一丸となって奉行させていただいております。

二十年程前までは、自坊のお会式を終えますと、年末年始の準備まではホッと一息で、組寺寺院のお会式があっても、檀信徒と共にお詣りをさせていただく事はありませんでした。

私どもの住む三浦半島では、万燈参拝の交流は明治、大正、昭和と続き、今から五十年前頃までは盛んに行われたそうですが、徐々に消滅されてしまったようです。

先代の母が亡くなられた昭和六十一年の年に、万燈、纏でのお会式を復活してほしいと思い、当時の総代さん達にお願いをしました。

その後、皆さんの賛同をいただき、早速纏・太鼓のテープを聴いて練習が始まりました。

ご縁のあるお寺さんとの交流も始まり、身延山・池上本門寺・清澄寺のお会式参拝等、徐々にその数も増え今では

十四ケ寺のお寺さんに参拝をさせていただくようになりました。
各お寺でのお会式参拝の時には、万燈の組立等準備が整った後、出発の時には全員玄題旗に向かってお題目をお唱え致します。
十月十二日お会式当日は、池上本門寺で一番開帳、大坊を参拝し身延山に出発致します。
身延山では、男性達が万燈組立・準備をしている間に、女性達は玄題旗を先頭に、ご廟所参拝を致します。
正面のご廟塔の金文字のお題目の前では、「今年もお参りさせていただく事ができました、ありがとうございます」と、報恩感謝の真心を申し上げます。
見上げる金文字のお題目がことのほか力強く、私達を迎えて下さっているような、そんな気がしてまいります。
私達の信行活動の宝であります玄題旗と同じ日蓮さまのお題目、日蓮さまの魂の留まる静寂につつまれたご聖地の身延山だからこそ、感動が湧きあがってくるものと思います。
早朝より出発して、夜中の二時、三時の帰宅のかなりきつい日程となりますが、参加の方々の報恩感謝の心がなければ実行する事は叶いません。
お陰さまで身延山お会式参拝も本年で連続十八回目となりました。
これからも出来る限り続けてまいりたいと思っております。
また、参拝されなくても、多くの方々のご報恩料、ご浄財のお力添えをいただいております。
そういった大勢の皆様のお陰をいただき、お会式活動が継続出来るのだと思っております。
当山のお会式には、近隣のお檀家さんが総出でお手伝いをしていただきます。
特に農家の方には、お会式にむけての大根や人参、里芋等、お煮メ用の野菜作りから始まり、当日にむけての準備等、また寺内では万燈、ご宝前のお花作り、仏具磨き、本堂境内清掃等々、お会式をお迎えする準備の為に、入れ替

わり立ち代り、多くの方々がそれぞれに出来る限りの真心のご奉仕をして下さっております。
皆様の真心が本当にありがたく、お寺も感謝の気持を込めて、手作りのおにぎりを作ったり、境内のご神木のぎんなんをお嫁さんがきれいに洗って、ご宝前にお供えしお手伝いをしていただいた方にお分けして喜ばれております。
お会式当日は数百人の参拝者の接待の準備で、仮設台所が女性達で賑やかです。
皆さんに逢えて嬉しいと、お檀家さん同志、なごやかな笑い声が聞こえます。
本堂での大法要には、可愛い子供さん達の献香献花で始まります。
ほほえましく、ちょっと緊張の一瞬です。
そして、この子供達が中学・高校生に成長された時には、きっと纏や太鼓で活躍してくれる事と思います。
御法要では、組寺檀信徒の方々による法華和讃のご奉詠、参拝者一同、心ひとつになって日蓮さまを讃えます。
男性の方も一緒に口ずさんでいられる姿が嬉しいです。
お会式大法要も無事に終え、暗くなってまいりますと、万燈・纏の参拝が始まります。
ご縁のあるお寺さんとのお会式参拝の交流を始めてから、檀信徒同志が顔なじみになりまして、皆さんがお互いに声を掛け合い、お逢いする日を楽しみにしているようです。「今年もお詣りさせていただけて嬉しいです、又、来年も元気でお逢いしましょう！」と手を取り合って約束していられる姿、まさしく報恩感謝でつつまれたお会式です。
当山の万燈講中の中心で頑張って下さる方々も、高齢化になりつつありますが、皆さんチームワークよろしく、まだまだパワーがあります。
そのメンバーの発案で、「今年も予定通り無事にお会式参拝をさせていただいたお礼に、お餅つきをしてご宝前にお供えしましょう」、と報恩餅つき大会が三年前から始まりました。
還暦を過ぎている私もお餅つきを体験した事がありません。

当日は、子供さん達もはじめての体験で大喜びです。
皆、手順よく、威勢のよい掛声を掛け合って、あれよあれよという間に紅白のお供え餅がまるめられて出来上がり、御宝前に報恩感謝のお餅をお供えする事ができました。
コンビニでは売っていない、大根おろしや、納豆、きな粉等をつけた、やわらかなつきたてのお餅を皆でお腹一杯になる程いただきました。
最後になりますが、お題目のご縁に結ばれてお寺に集う檀信徒の方々、年に一度のお会式にむけて、協力、協調し、信仰の喜びを皆で分かち合える、実感できるお会式、家族みんなが参加できるお会式をめざしておりますが、お会式の時期になりますと、いろいろな心配事や、不安がつのります。
しかし、日蓮さまの命をかけてのお題目弘通の御心を思いますと、私達も頑張らなければ！、と勇気が湧いてまいります。
困った時には、誰かが変化の人となって助けて下さる。そして、大難が小難となっていくから不思議です。
すべては日蓮さまのお導きのお陰さまだと思っております。
檀信徒の皆さんと、住職、寺族が一丸となり、又ご縁あるお寺さんと交流することで、共に「報恩感謝のお会式」をこれからも盛り上げてまいりたいと思います。

合掌